

余丁校通信



1月の生活目標

てあら
手洗い・うがいをしっかりしよう。

今年もよろしく申し上げます

校長 古谷 勉

12月2日の音楽会には数多くの保護者・地域の皆様にご来場いただき、誠にありがとうございました。行事に対しても一生懸命取り組む子どもたちの様子を見て、改めて余丁町小学校の子どもたちの素晴らしさを感じたところです。運営面では、前回の反省を受けて試みた指定席と自由席については概ね良い評価をいただきましたが、子どもの姿が見えにくい座席があったとのこと意見が寄せられています。楽器が多く、平場を広く使わざるをえないため、できることに限りはありますが、検討していきます。

さて、12月第3週からは校庭の校舎側にもフェンスが張られ、人工芝の張替工事が始まりました。校庭が使用できない期間は子どもたちの運動量を確保するため、東戸山小の校庭又は戸山公園の運動ひろばをお借りし、各学年3週間で2回、時数にして4時間、体育や学級活動等を実施することとしました。体育館の利用も合わせ、子どもたちの体を動かす機会を確保していきたいと考えています。

校舎北側で実施されていた災害備蓄倉庫の建設と、それに伴うポケットひろばの改修工事は終了し、この1月から全面的に使えるようになりました。現在の校舎を建築した際に作られたポケットひろばは、煉瓦の独特の風合いを感じさせるものでしたが、傷みが激しく、水溜りが何カ所もあるような状況でした。区が改修を計画しましたが、設計段階から煉瓦仕立てという構想になっており、校舎まわりの趣を考慮した計画になっていました。新しく敷き詰められた煉瓦も時間の経過とともに、周囲と馴染んでくることでしょう。残念ながら考える坂はなくなりましたが、時計台、玄関前の丸く重厚な柱、校舎の佇まい、そして校舎周りの煉瓦など、余丁町小の歴史を感じさせる雰囲気は継承されることをうれしく思っています。

3学期は文化的行事である書き初め展・展覧会が実施されます。一人一人の個性が際立つ作品が展示されるはずで、2月からは卒業関連の行事が始まります。今年も日々の授業に加え行事にも力を入れ、教育活動の充実を図っていきます。

相談室より

スクールカウンセラー 中村真理・戸倉芙美

2024年が始まりました。年末年始はゆっくり過ごせたいでしょうか。新しい1年の始まりに、みなさんはどんな目標を立てましたか？みなさんにとって素晴らしい1年になるといいと思います。

冬休みが明けて新学期になり、なんだか落ち着かない気持ちでいる人もいるかもしれません。相談室では、気持ちをほっとさせたり、楽しくおしゃべりをして過ごしたりと、それぞれの気持ちに合わせて、今後も利用していただければと思います。

寒くなってきて、風邪やインフルエンザなども増えてきています。こころのエネルギーが低下するからだのエネルギーも少なくなってしまうこともあります。病気にならないために、こころを健康に保つことも大事です。

小さなことでも「やってよかったな」「できてうれしいな」と実感をもつようにしてみてください。保護者のみなさまも、「こんな相談してもいいだろうか？」と遠慮なさらずに、お気軽にご利用いただけますと幸いです。

良い年になりますように

養護教諭 小林 明代

最近、「笑うことは健康に良い」という話をよく見聞きします。研究も進んでいるようで、検索してみると、「笑いの効能」「笑いの効果」がずらっと出てきます。免疫力が高まったり、自律神経のバランスが整ったりと良いことばかりです。笑うことによってエンドルフィンという脳内ホルモンが分泌され、幸福感をもたらすと言われています。おもしろいなと思うのは、「作り笑いでも効果あり」ということです。

【笑う ⇄ 楽しい・幸せ】の好循環は、自分の中だけでなく、周りの人にも良い影響をもたらします。私も余丁町小の児童から好循環パワーをもらい、日々実感しています。心配事もあると思いますが、よく寝て、よく食べて、よく笑って、免疫力アップ！子どもたちにとっても大人にとっても、健康で良い年になることを願っています。